

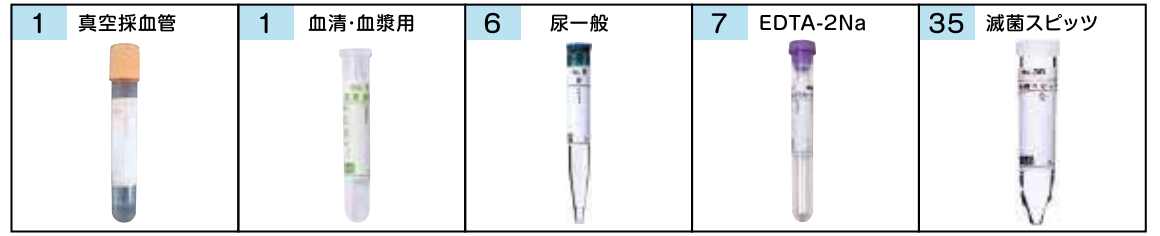
副腎髄質

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
5593	カテコールアミン 4E010-0000-004-204	24時間 蓄尿 2	6	冷蔵	4~6	189 生化II *	HPLC	52.0~195.3 μg/day	添加剤を入れた蓄尿容器に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響がみられますので、必ず専用容器に入れてください。	【高値】褐色細胞腫・神経芽細胞腫 副腎髄質過形成・心不全・うつ病 本態性高血圧症 甲状腺機能低下症 【低値】下垂体機能不全症 特発性低血圧症 起立性低血圧症
5036	カテコールアミン分画 4E016-0000-022-204 4E016-0000-004-204	EDTA-2Na 血漿 1.5	7	血漿凍結	4~6	165 生化II *	HPLC	アドレナリン 100以下 ノルアドレナリン 100~450 ドーパミン 20以下 pg/mL	添加剤を入れた蓄尿容器に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響がみられますので、必ず専用容器に入れてください。	
5039		24時間 蓄尿 2	6	冷蔵	4~6			アドレナリン 3.4~26.9 ノルアドレナリン 48.6~168.4 ドーパミン 365.0~961.5 μg/day		
5045	メタネフリン2分画 4E040-0000-004-205	酸性 蓄尿 2	6	冷蔵	4~6	220 生化II *	LC-MS/MS	メタネフリン 0.04~0.19 ノルメタネフリン 0.09~0.33 mg/day	添加剤を入れた蓄尿容器に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響がみられますので、必ず専用容器に入れてください。	【高値】褐色細胞腫・神経芽細胞腫 糖尿病・原発性アルドステロン症 【低値】Shy-Drager症候群 起立性低血圧症
4288	遊離メタネフリン分画 (血中) 4E040-0000-004-205	EDTA-2Na 血漿 1.5	7	血漿凍結	5~11	320 生化II *	ELISA	遊離メタネフリン 130以下 遊離ノルメタネフリン 506以下 pg/mL	採血は仰臥位にて20分間安静にした後に採血してください。(測定値が上昇する可能性があります)著しい溶血(低値)や乳びが認められる検体は不可。	【高値】褐色細胞腫
5043	VMA (バニールマンデル酸)	24時間 蓄尿 3	6	冷蔵	4~5	90 生化II	LC-MS/MS	1.4~4.9 mg/day	(尿検体) 添加剤を入れた蓄尿容器に尿を24時間蓄尿し、よく混和後必要量をご提出ください。酸性蓄尿されていないものはデータに影響がみられますので、必ず専用容器に入れてください。	【高値】褐色細胞腫 神経芽細胞腫 【低値】家族性自律神経失調症 Shy-Drager症候群
9378	4E060-0000-004-205 4E060-0000-022-204	EDTA-2Na 血漿 1.5	7	血漿 冷蔵	4~7	90 生化II	HPLC	3.3~8.6 ng/mL		
5044	HVA (ホモバニリン酸)	24時間 蓄尿 3	6	冷蔵	4~5	69 生化II	LC-MS/MS	1.6~5.5 mg/day	よく混和して尿量をはかり、1日尿量を記載してください。	【高値】神経芽細胞腫 褐色細胞腫 悪性黒色腫・Sipple症候群 【低値】パーキンソン症候群 アルツハイマー病
9103	4E055-0000-004-205 4E055-0000-022-204	EDTA-2Na 血漿 1.5	7	血漿 冷蔵	4~7	69 生化II	HPLC	4.4~15.1 ng/mL		
5042	5-HIAA (5-ハイドロキシインドール酢酸)	24時間 蓄尿 0.5	6	冷蔵	4~6	95 生化II	HPLC	1.0~6.0 mg/day	1日尿量の記入がない場合の単位はμg/Lまたはmg/Lとなります。	【高値】カルチノイド症候群 ダンピング症候群・片頭痛(発作前) 【低値】パーキンソン症候群 躁鬱病 ウイルス病・うつ病 フェニルケトン尿症
5140	4E070-0000-004-204 4E070-0000-022-204	EDTA-2Na 血漿 1.5	7	血漿 冷蔵	4~7	95 生化II		1.8~6.1 ng/mL		
8996	MHPG (3-メトキシ-4-ヒドロキシフェニルエチレンジアミン)	EDTA-2Na 血液 1.5	7	血漿凍結	不定期		HPLC	3.2~5.9 ng/mL		【高値】神経性食欲不振症 総色失調症 【低値】アルツハイマー病・うつ病 慢性疲労症候群
9467	4E080-0000-022-204 4E080-0000-041-204	髄液 1.5	3.5	凍結						
9009	セロトニン	EDTA-2Na 血液 1.0	7	血液凍結	5~10		HPLC	57~230 ng/mL		【高値】カルチノイド症候群 ダンピング症候群・片頭痛(発作前) 【低値】膠原病・片頭痛(発作中) 精神発達不全・うつ病 SLE・フェニルケトン尿症
5596		4E065-0000-019-204 4E065-0000-022-204	EDTA-2Na 血漿 1.5	7	血漿凍結			4~8		
9267	L-ドーパ 4E045-0000-022-204	EDTA-2Na 血漿 1.5	7	血漿絶対凍結	6~19		HPLC	1.2~2.2 ng/mL	ヘパリン血漿不可	【高値】悪性黒色腫・褐色細胞腫 神経芽細胞腫 【低値】パーキンソン症候群

* 内分泌学的検査の包括 1回に採取した血液を用いて3項目以上の検査を行った場合
3~5項目: 410点 6・7項目: 623点 8項目以上: 900点

※遊離メタネフリン分画は、褐色細胞腫の鑑別診断を行った場合に1回に限り算定する。本検査を実施するに当たっては、関連学会が定める指針を遵守し、褐色細胞腫を疑う医学的理由を診療録に記載すること。

※メタネフリン、メタネフリン・ノルメタネフリン分画、ノルメタネフリン又は遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。



内分泌学的検査